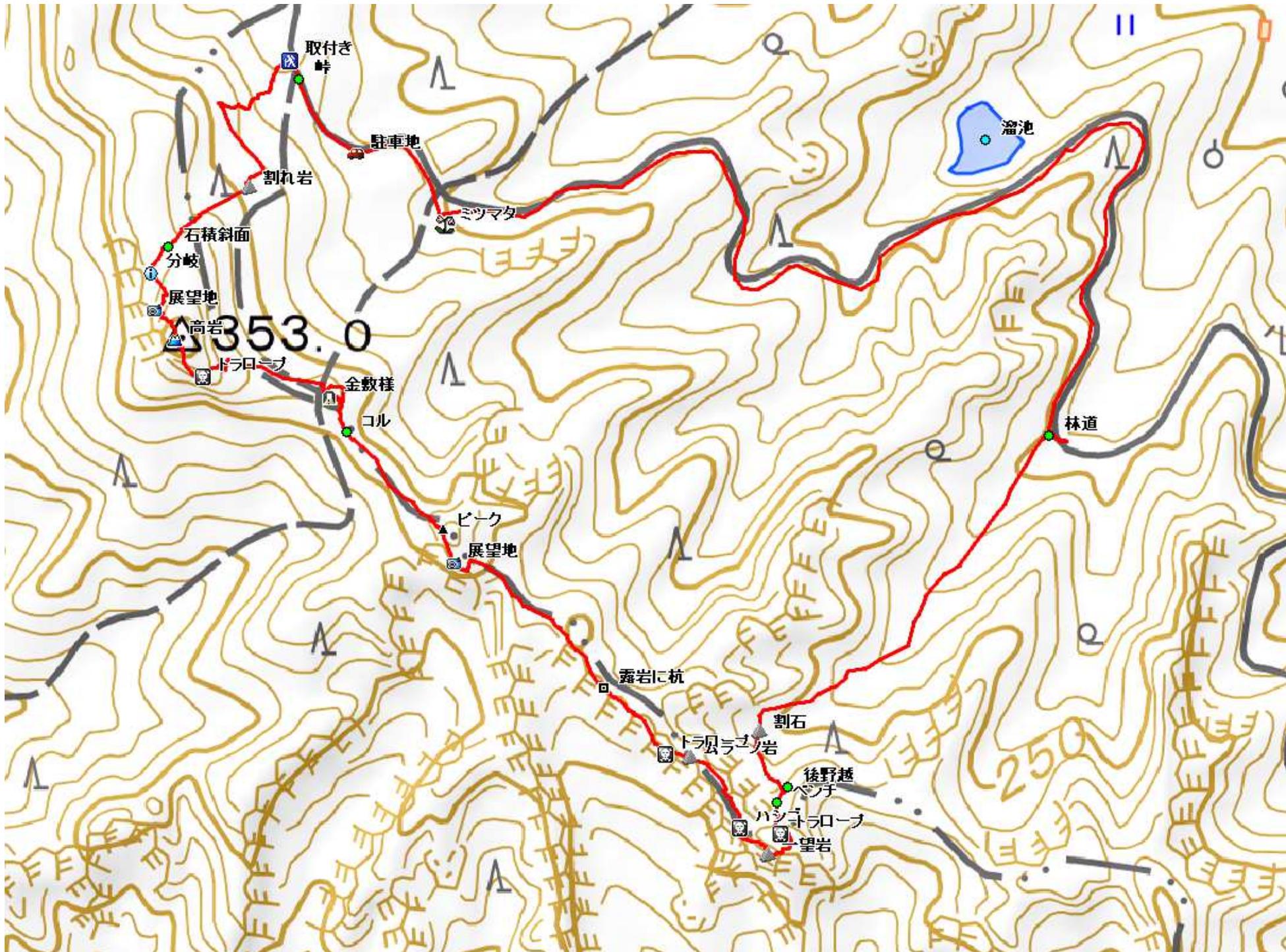


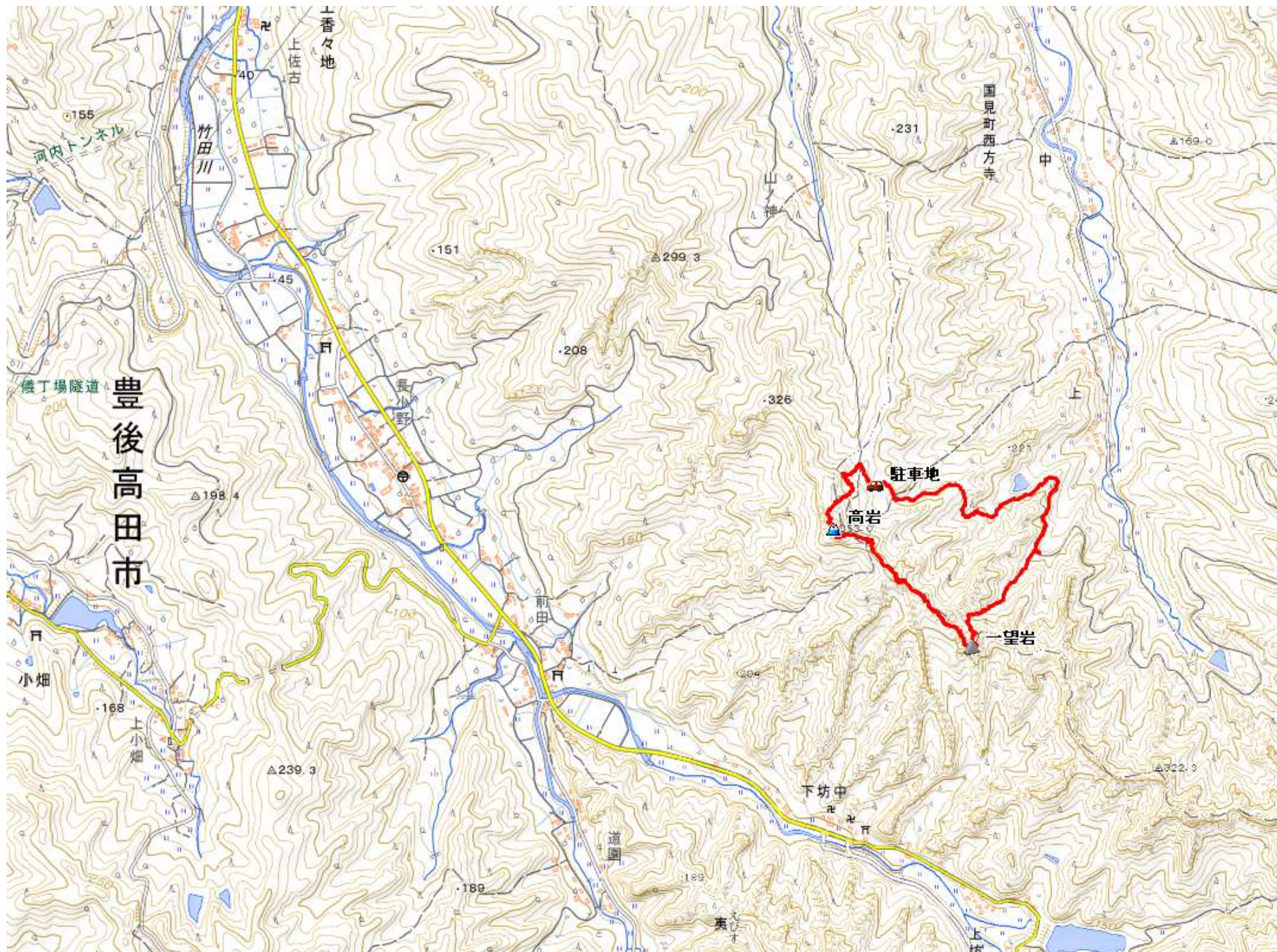
221117 たかいわ 高岩 (353m) ~ いちぼういわ 一望岩 (290m)

2.9 km 2時間21分 (休憩時間は含まない) ※この地図はカシミール3Dにより作成したものです。



- 駐車地
- ↓ 0:02
- 取付き
- ↓ 0:29
- 高岩(353m)
- ↓ 0:18
- 金敷様
- ↓ 0:45
- 一望岩(290m)
- ↓ 0:24
- 林道
- ↓ 0:23
- 駐車地

221117 高岩 (353m) ~ 一望岩 (290m) 広域図



高岩(353m)～一望岩(290m)

2022.11.17(木) 晴れ

駐車地→取付き→峠→高岩(353m)→金敷様→一望岩(290m)→林道→駐車地



国道213号新竹田トンネル手前を右折し、山ノ神集落を経て5km程走り、峠を下った路肩広場に**駐車**し、引き返し**峠**を越える。(ミツマタロード)



峠から15m程下った西側に、古い赤テープを見て**取付き**く。



目印のテープ類は見当たらず、スギ植林斜面を南西方向に上って行く。



石積の間を抜ける。



獣道を南南東へ辿る。



南側の弱い尾根斜面に古い赤テープを見て、南西に雑木斜面を上って行く。



一直線に切られたような**割れ岩**に出会う。



古いテープが続く踏跡を辿って緩やかに上って行く。



段々畑のような**石積斜面**を上って行く。



尾根筋に上り上がる。



分岐となっており、西へトラロープが下がっている。



南東へ進む。



前方が開けて来た。



上と展望地で南南東から西北西の展望が得られる。



展望地から北西を望む。



岩尾根を進む。



先端に三角点が見える。



高岩(353m)の山名板を見る。



昭和41年選点の四等三角点:堂明(353.01m)が設置されている。



高岩から東～西南西を望む。



山名は別名として堂明もある。



高岩から北北西を望む。



南へ岩場を下る。



降り終えて**トラロープ**を見上げる。



大岩の下を巻く。



岩場下を通過する。



岩尾根の北側をトラバナーする。



前方に祠が見えた。



岩上に**金敷様**の石祠を見る。舟形の手水鉢があることから雨乞や農耕の神様か？



高岩
西北西に高岩を振り返る。



金敷様の岩塔下を巻く。



雑木尾根筋を南へ緩やかに下って行く。



弱い**コル**地形を通過し、緩く上って行く。



前方に**ピーク**地形が見えた。



周囲を雑木で囲まれ展望は得られない。



25m程進むと、**展望地**で南南西から南西の展望が得られる。



展望地から東から南南西の展望。



尾根筋北側を下って行く。



緩く上って行く。



弱いピークを越える。



ヤセ尾根を行く。



露岩に杭を通過する。



岩尾根北東側をトラバースする。



トラロープの急崖を降る。



ヤセ尾根を上って行く。



この岩峰がムラーノ岩か？



南から西北西の展望。



ハシゴを越える。



北北西を振り返る。



トラロープが張られた岩棚をトラバースする。



一望岩への鉄製ハシゴを上る。



西南西に猪群山。



北西に高岩。



一望岩から見た南南東～南。



東南東に千燈岳。



南南西に下坊中の道路を見下ろす。
一息ついて、鉄製ハシゴを降る



北の急斜面のロープ場を下る。



傾斜が緩んだ斜面にトラロープを見る。



左岩陰に木製ベンチを見る。



北北東に標柱が見える。



近づいて見ると、**後野越**の標柱で、千燈岳でも見た同じ図柄の案内板も立っていた。



引返し、北西へ下って行く。



左に0.7km標柱を見送る。



沢側に**割石**を見る。



スギ植林斜面を下って行く。



ミツマタ群生地を抜ける。



林道に出会う。



下って来た方を振り返る。



林道(ミツマタロード)を北へ向かう。



左へカーブして行く。



右手に溜池(上金敷池)を見る。



道なりに緩く上って行く。



ミツマタ第5群生地の拡幅広場には、長い丸太ベンチがある。





ガードレールに張られた案内板。



左カーブして駐車地に帰ってきた。



ヤマジノギク



イワヒバ



アキノキリンソウ



ミツマタ 蕾



ビナンカズラ 実



ヤブムラサキ 実



フユイチゴ 実